

藤原清衡の四男清綱が志波郡比爪(現紫波町赤石)に本拠を構え、居住地の地名を名字とし「樋爪氏」を称した。奥六郡に同族を分置しなかった清衡にしては特別の配置である。

—岩手県市町村地域史シリーズ24「紫波町の歴史」河村迪雄著—

## 《《《 3～4月行事予定のお知らせ 》》》

<p>3月10日 (日曜日)</p>	<p>第3回研修旅行</p> <p>※ 予定数に達したので、申込は締め切りました。今後の受け付けはキャンセル待ちとなります。</p>	<p>集合時間：午前9時(午後4時解散予定) 集合場所：赤石公民館 研修箇所：岩手県立図書館～岩手県立博物館～盛岡市遺跡の学び館 参加費(交通費・入館料)：1,000円程度 ※ 参加者数により多少の変動があります。 ※ 昼食代は各自負担となります。 参加申込：赤石公民館内 懇話会事務局 電話/FAX 676-3999 申込期限：平成25年2月20日(水)</p>
<p>3月20日 (水曜日)</p>	<p>第40回月例懇話会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：治承・寿永の内乱から奥州合戦</p>
<p>赤石地区ひづめ館懇話会の「樋爪館遺跡の道案内人部会」では、ボランティアで遺跡の道案内を行っています。老人クラブや子供会などで、来年度事業計画に「ひづめ館の遺跡めぐり」等を企画するときは、参加者のニーズに合ったコース設定などに協力しますので遠慮なくご相談ください。</p>		

## —?—?—?—?— 樋爪氏 / 樋爪館 —?—?—?—?—

## Part10

### (9) 忠臣 佐藤兄弟

俊衡、季衡の妹である清綱の娘乙和(おとわ乙和姫)は、信夫荘司の佐藤元治(もとはる)に嫁ぎ、源義経に忠臣として仕えた佐藤継信(つぐのぶ)に・忠信兄弟の母として、信夫郡大鳥城(福島市飯坂温泉付近・現在館の山公園)に居城しました。全国佐藤姓のみなものひとつにもなっています。

継信は、源平の戦いの時に義経の身をかばい、敵将・能登守教経(のとかみのりつね)の矢を受けて名誉の戦死をし、忠信は、京都の堀川の館でこれも名誉の戦死を遂げます。

息子2人を失って嘆き悲しむ義母乙和を、なんとか慰めたいと思案した嫁の若桜と楓(かえで)は、甲冑(かっちゅう)を身に着け夫の雄姿

を装いました。そして姑の前に現れ「継信・忠信、ただ今元気で凱旋(がいせん)しました。」と云って元気づけたと伝えられています。この逸話は浄瑠璃(じょうるり)などでも演じられ涙を誘いました。

### (10) 樋爪一族の末裔

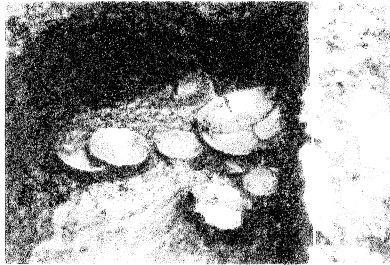
樋爪氏を研究している紫波郷土史同好会の方々は、よくゆかりの地を訪れます。五郎季衡が流された下野(しもつけ 現栃木県)宇都宮市もその一つです。宇都宮駅付近にある三峰神社に、五郎季衡のものと伝えられる2基の墓石がありますが、当市では文化財に指定して保護し、年3回も供養するなど篤い信仰の対象になっているそうです。

(次号につづく)

☀ ☀ ☀ 樋爪館遺跡出土品(3) ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀

比爪館遺跡の遺物で最も多量に出土したのが「かわらけ」です。これは、素焼きの小皿や碗形の土器で、儀式や宴会などに用いられ、使い捨てにされていたものといわれます。かわらけは、井戸や土坑・大溝などいろいろな遺構からまとめて出土しています。そのほかには中国製の青磁や白磁の破片(舶載陶磁器(はくさいとうじき))、常滑(とこなめ)焼や珠洲(すず)焼の壺の破片など、国外や日本各地の製品も出土しています。また、井戸や大溝の泥湿層の中からは、当時の漆碗・曲げ物・下駄など、さまざまな木製品も出土しています。

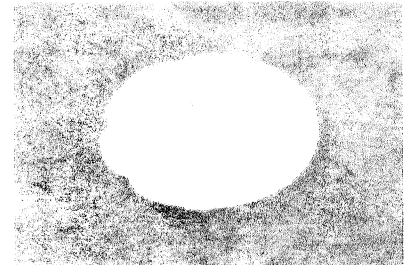
— 紫波町内平泉藤原氏関連遺跡展 展示資料(紫波町教育委員会)から —



土坑から出土したかわらけ



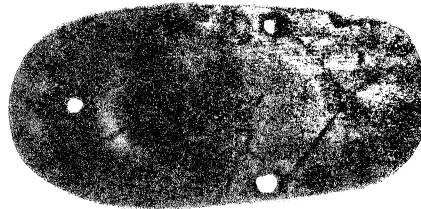
中国製青磁の破片



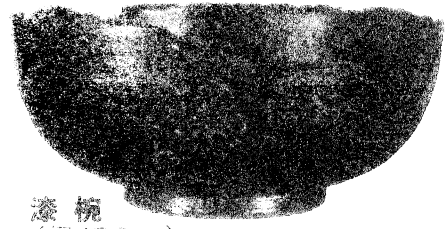
中国製白磁の蓋 (径5.3cm)



金箔押飾り金具  
(全長8.9cm)



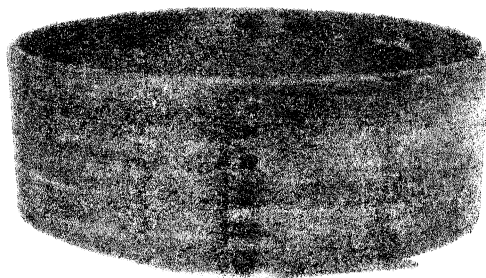
下駄  
(全長23.4cm)



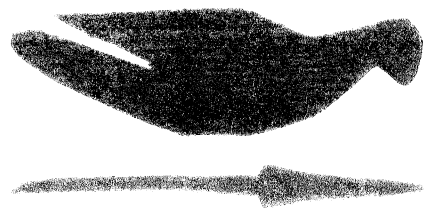
漆碗  
(径15.9cm)



木簡 (字を書いた板 長17cm)



曲げ物 (外径25.2cm)



呪術用鳥形木製品(上 長 8.9cm)



魚形木製品(下 長10.3cm)

赤石地区ひづめ館懇話会  
会員募集中

会費 年額 1,000円  
主旨に賛同する方、どなたでも歓迎  
申込は赤石公民館内の事務局まで。

019-676-3999

ボランティアガイド  
樋爪館遺跡の道案内人

JR日詰駅前 宮澤賢治の歌碑前 スタート  
ご相談に応じます。ご近所お友達誘い合っ  
て、事前にお問い合わせください。

090-3125-3776 (高橋)